

BYD

日本国内 自動車解体事業者様向け
起動用バッテリー取り外しマニュアル
(12V リチウムイオンバッテリー)



BYD SEAL

2025 年 8 月
BYD Auto Japan 株式会社

目次

起動バッテリーについて	3
概要	3
機能	3
リチウムイオンバッテリーについて	4
絶縁処理	6
リチウムイオンバッテリー引き取り依頼・引き渡し荷姿の指定	7
取り外し手順	8
ユニット位置図	8
起動バッテリーの取り外し	9
低電圧システムのパワーOFF	11
リアシート台座プレート ASSY の取り外し	13
左リアシートクッション ASSY の取り外し	15
左リアサイドシルプロテクターASSY の取り外し	17
右リアサイドシルプロテクターASSY の取り外し	18

起動バッテリーについて

⚠️ 警告 :

- 起動バッテリーの負極（-）側ワイヤーハーネスが、正極（+）側端子に接触しないよう注意してください。
- バッテリーに裸火や高温物を近づけないでください。
- 起動バッテリーを無断で改造したり、外付け充電器を使用して起動バッテリーを充電しないでください。
- バッテリーの残量が低くスリープモードに入った場合は、運転席側ドアハンドルのマイクロスイッチを押す、またはモータールーム内のジャンピングスター用の端子を使用して車両を起動し、DC 電源を ON にして約 15 分間充電してください。
- バッテリーへ引火物・爆発物を近づけないでください。
- バッテリーにお子様を近づけさせないでください。

概要

起動バッテリーは、自動車全体の電子機器の低電圧の電力源です。車両全体の低電圧システムが正常作動することを保証するため、起動バッテリーの充電が不足しないことが必要です。従来の設計にスマート充電システムを追加し、車両を長時間駐車する場合は、起動バッテリーの-端子を外す必要はありません。また、バッテリー検出器で起動バッテリーの電圧が低すぎることを検出すると、パワーバッテリーを使用して起動バッテリーを充電し、充電が不足しないようにすることができます。

電池とは、起動バッテリーとバッテリーマネージャー(BMS)の略称です。

機能

電気システムの場合は、過放電保護に入る前や超低消費電力条件下のときに、起動バッテリーが電気機器の電源となります。DC-DC 出力が不足している場合は、起動バッテリーにより電力機器への電力供給を補助します。

起動バッテリーは、回路内の瞬間的な過電圧を吸収することで、電気システムの電圧の安定性を維持し、電子部品を保護することができます。

起動バッテリーには、電圧、電流、温度の監視機能があり、異常が発生すると故障警報機能が作動します。起動バッテリーが故障して警報機能が作動すると、メーターの故障警告灯が点灯(常時点灯)し、「起動バッテリーを確認してください」と表示されます。

スマート充電の条件を満たすため、起動バッテリーの電圧が低い場合は、電源システムは起動バッテリーを補充して電力不足を防ぎます。

リチウムイオンバッテリーについて

外観写真



リチウムイオンバッテリーの見分け方



i 注意：

- ラベルのデザインは異なる場合がございます。

絶縁処理

感電防止のため、起動用バッテリーの端子部を絶縁キヤップまたは絶縁効果のあるテープで覆い、絶縁処理を行ってください。

絶縁キヤップで絶縁した場合



絶縁効果のあるテープで絶縁した場合



BYDは、当社製リチウムイオンバッテリーの転売、譲渡等による専用車両以外への起動用バッテリーの使用や、分解、改造による事故・損害等について、一切の責任を負いかねます。

取り外しに関する技術的なお問い合わせ先

BYDカスタマーセンター

TEL:0120-807-551(フリーダイヤル)

フリーダイヤル受付時間:

平日・土日祝 9:00~18:00

(GW/夏季休業/年末年始休業を除く)

リチウムイオンバッテリー引き取り依頼・引き渡し荷姿の指定

- LiB は裸の状態とし、解体事業者様にて運搬会社が持参する段ボールに格納し、ドライバーへ引き渡してください。
- 回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーに貼り付けをお願いします。

＜LiB 回収受付窓口＞

取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構（自再協）の引取依頼システムより回収を依頼してください。

リチウムイオンバッテリー(LiB)引取依頼システム：

<https://www.lib-jarp.org/>

＜LiB 回収、引き取り依頼についての事務的な問合わせ＞

自動車再資源化協力機構（自再協）－ JARP－

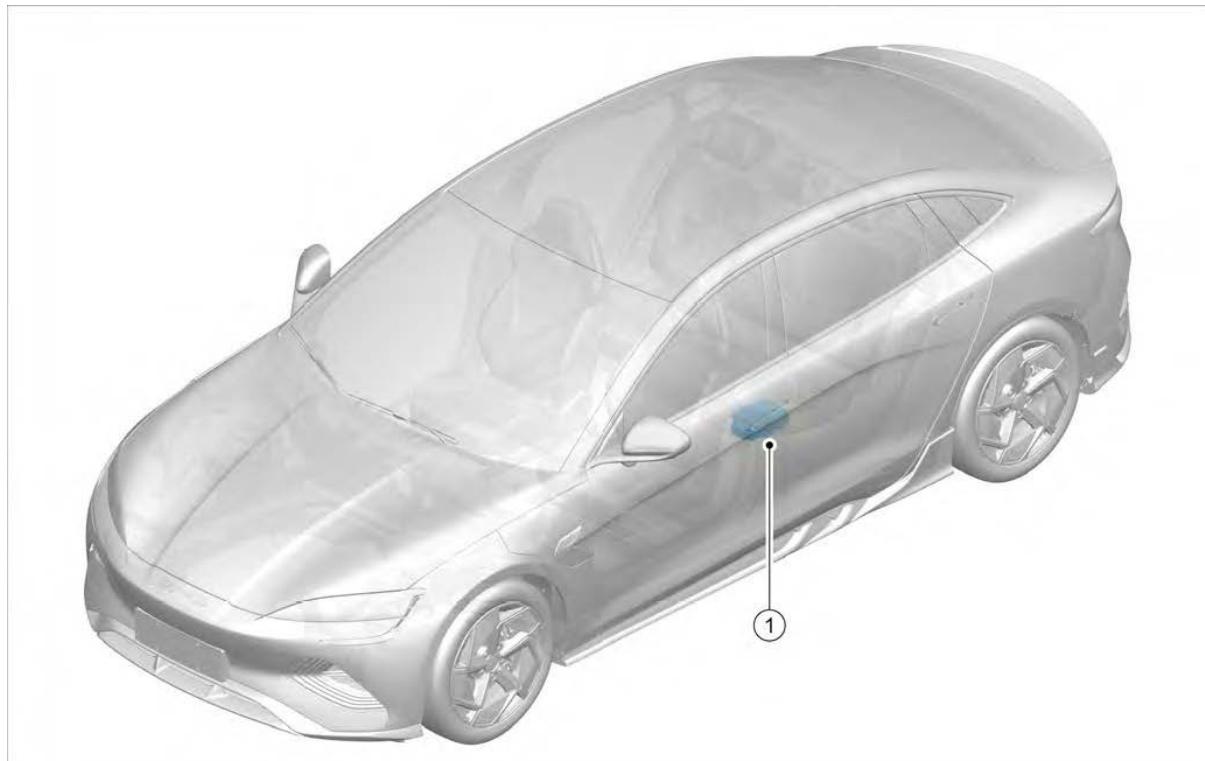
info-libsystem@jarp.org

問い合わせ先：0570-000-994

【平日 9:00～17:00(年末年始及び土日祝祭日を除く)】

取り外し手順

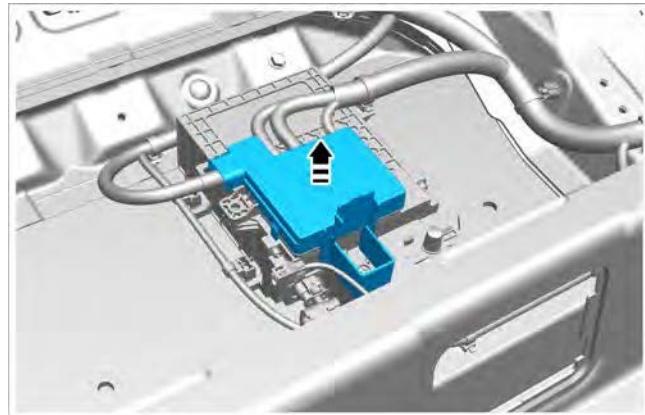
ユニット位置図



番号	名称
1	起動バッテリー

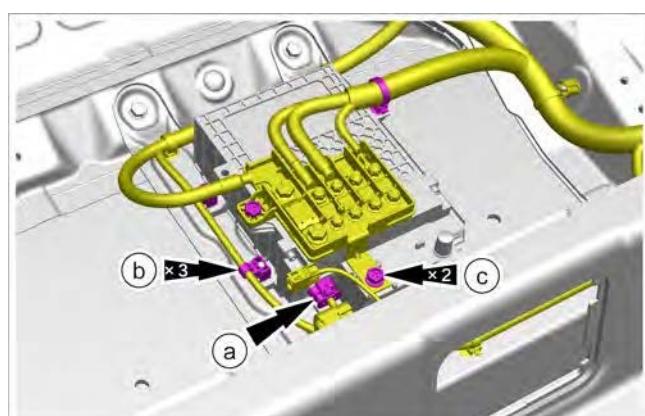
起動バッテリーの取り外し

1. 低電圧システムをパワーOFF します。低電圧システムのパワーOFF を参照してください。
2. リアシート台座プレート ASSY を取り外します。リアシート台座プレート ASSY の取り外しを参照してください。
3. 正極保護カバーを取り外します。



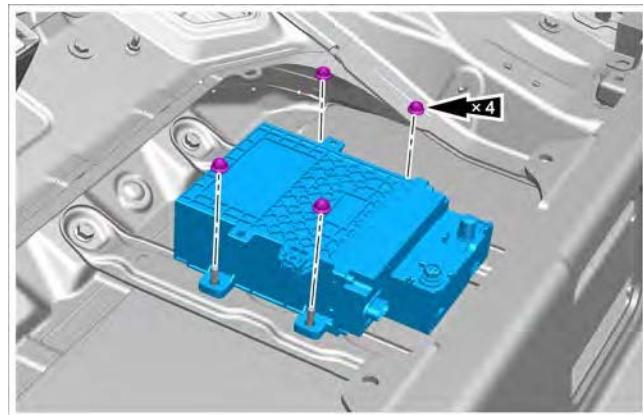
4. フロアワイヤーハーネスの一部を抜き出します。

- (a) コネクタ 1 個を切り離します。
 - (b) ハーネスクリップ 3 個を抜き出します。
 - (c) 固定ボルト 2 本を取り外します。
- 締め付けトルク : $13 \pm 1 \text{ N} \cdot \text{m}$



5. 固定ナット 4 個を取り外し、起動バッテリーを外します。

- 締め付けトルク: 10N·m

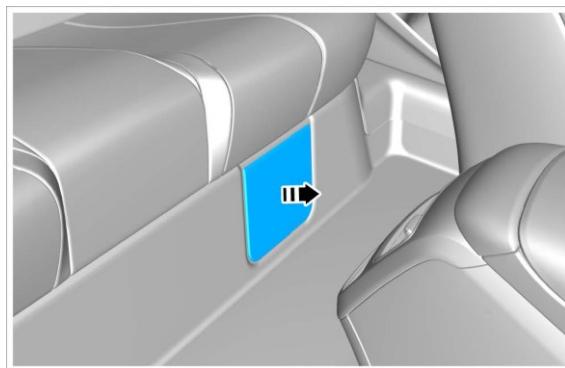


低電圧システムのパワーOFF

⚠️ 警告 :

- 低電圧システムをパワーOFFする場合：操作手順に別途説明がある場合を除き、すべての電気システム部品のメンテナンスを行う前には、下記の要求事項に従い低電圧システムの電源をOFFにし、メンテナンス完了後は低電圧システムの電源をONにしてください。
- 工具または設備がバッテリーの端子およびケーブル継手に当たりやすい場合も、低電圧システムの電源をOFFにしてください。
- これらの注意事項を守らないと、人体に危害を与えたり、車両を破損させるおそれがあります。

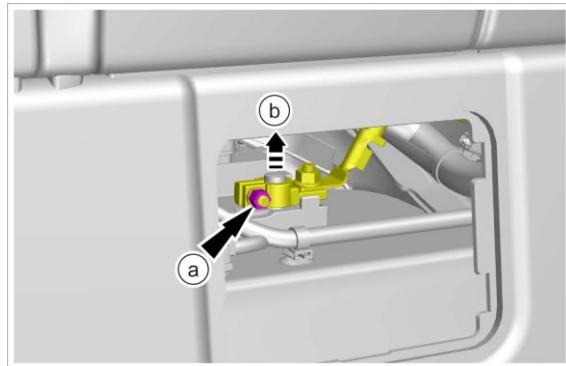
1. 車内のすべての電気機器の電源を切り、車両全体の電源を切ります（「スタート/ストップ」ボタンを押して車両の電源をOFFにする）。
2. プラスチック製のプライバーを使用してカーペットアクセスホールカバーを丁寧に外します。



3. 起動バッテリーの負極のハーネスを外します。

(a) 固定ナット 1 個を緩めます。

(b) 起動バッテリーのマイナス端子を外します。この時点では、車両の低電圧電気システムの電源が OFF になっています。

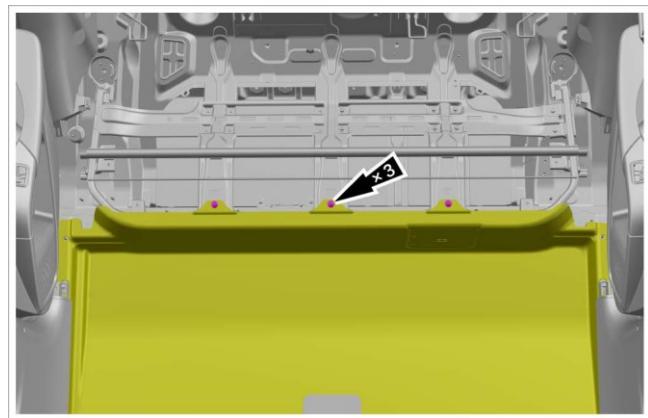


[i] 注意：

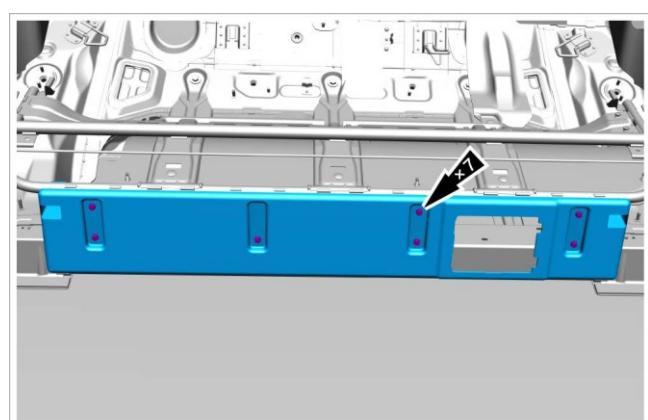
- 負極 (-) 側のワイヤーハーネスの外した後、起動バッテリーの負極 (-) 側を絶縁包裝して、金属と接触することで発生する回路の安全上の問題を起こさないようにしてください。

リアシート台座プレート ASSY の取り外し

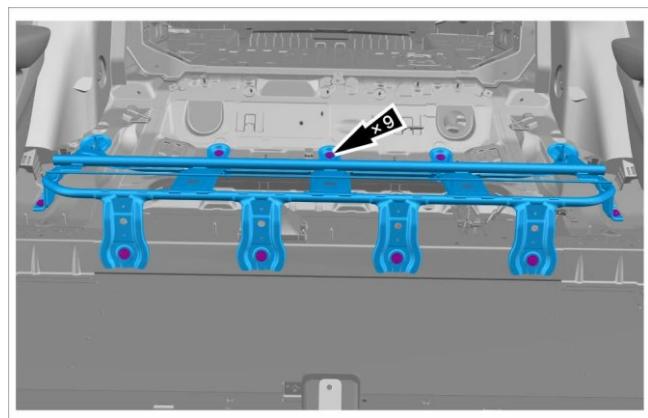
1. 左リアシートクッション ASSY を取り外します。[左リアシートクッション ASSY の取り外し](#)を参照してください。
2. 左リアサイドシルプロテクターASSY を取り外します。[左リアサイドシルプロテクターASSY の取り外し](#)を参照してください。
3. 右リアサイドシルプロテクターASSY を取り外します。[右リアサイドシルプロテクターASSY の取り外し](#)を参照してください。
4. 固定ボルト 3 本を取り外し、カーペット ASSY をめくります。



5. 固定ボルト 7 本を取り外し、カーペットロアプロテクターを外します。
 - 締め付けトルク: 7N·m



6. ボルト 9 本を取り外し、リアシート台座プレート ASSY を外します。

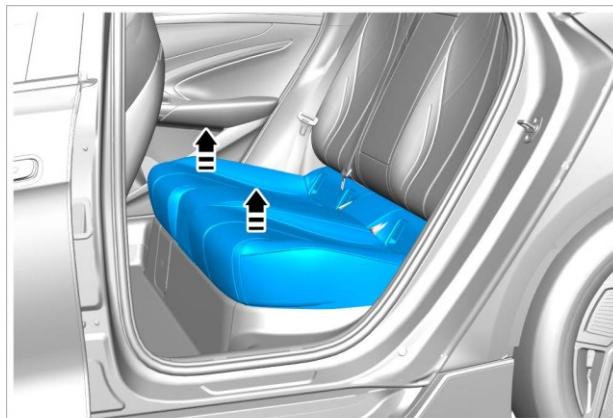


左リアシートクッション ASSY の取り外し

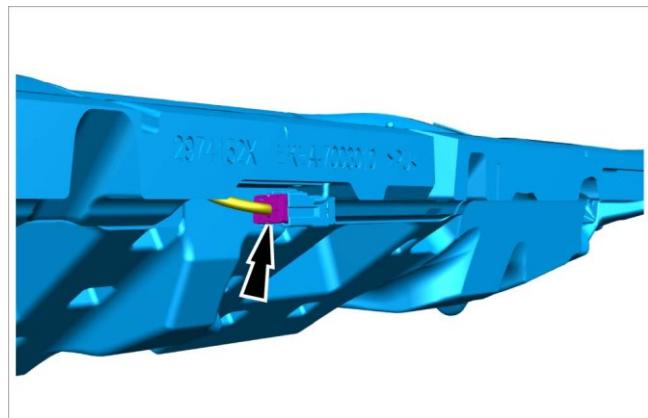
1. 低電圧システムをパワーOFF します。低電圧システムのパワーOFF を参照してください。
2. 左リアシートクッション ASSY を取り外します。

i 注意：

- 取り外し時に頭をルーフに当てないように慎重に持ち上げ、シートクッションパッドブラケット 2 個から抜き出してください。
- 左リアシートクッション ASSY を抜き出すときは、コネクタを引っ張らないように注意してください。

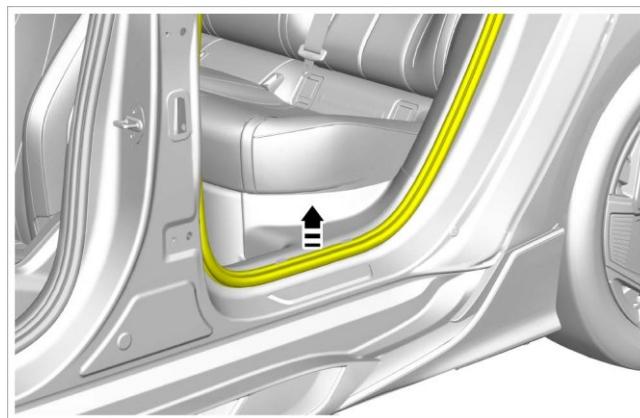


3. コネクタ 1 個を切り離し、左リアシートクッション ASSY を外します。

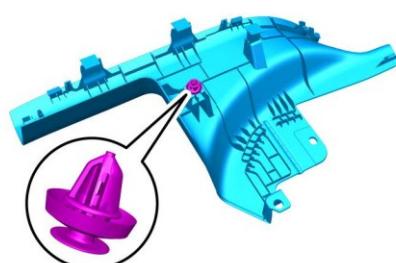
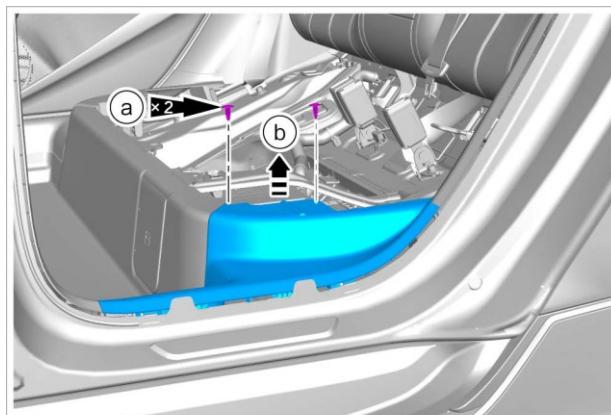


左リアサイドシルプロテクターASSY の取り外し

1. ドアオープンニングトリムウェザーストリップの一部を取り外します。

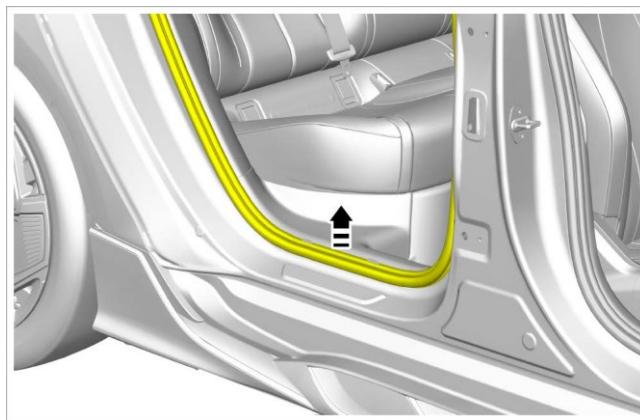


2. 左リアシートクッションASSYを取り外します。[左リアシートクッションASSYの取り外し](#)を参照してください。
3. 左リアサイドシルプロテクターASSYを取り外します。
 - (a) 固定クリップ2個を取り外します。
 - (b) 左リアサイドシルプロテクターASSYを取り外します。



右リアサイドシルプロテクターASSY の取り外し

1. ドアオーブンニングトリムウェザーストリップの一部を取り外します。



2. 左リアシートクッションASSYを取り外します。[左リアシートクッションASSYの取り外し](#)を参照してください。
3. 右リアサイドシルプロテクターASSYを取り外します。
 - (a) 固定クリップ2個を取り外します。
 - (b) 右リアサイドシルプロテクターASSYを取り外します。

